

## 26 林業技術センター

### ○ 沿 革

- 昭和43年4月 1日 林業指導講習所を廃止し、宮崎市大字柏原に林業試験場を設置する。  
管理課、研究部の1課1部制で試験研究、研修業務を開始する。
- 昭和47年4月 1日 研究部を造林部と特殊林産部に分割し、1課2部制とする。
- 昭和51年4月 1日 特殊林産部をしいたけ部と保護部に分割し、1課3部制とする。
- 昭和58年4月 1日 しいたけ部を特用林産部に改称、造林部と保護部を統合して育林部とし、新たに企画研修部を設けて1課3部制とする。
- 昭和62年4月 1日 特用林産部を林産部に改称する。
- 昭和63年4月 1日 管理課と企画研修部を統合して管理研修課とし、1課2部制とする。
- 平成 4年4月 1日 林業試験場を西郷村に移転し、林業総合センターと名称を改める。  
管理課、育林経営部、林産部、普及研修部の1課3部制とする。
- 平成 8年4月 1日 普及研修部と森林保全課林業専門技術員を統合して普及指導室とし、1室1課2部制とする。
- 平成13年4月 1日 林業技術センターに改称、普及指導室を廃止し、林業専門技術に係る普及指導業務を林政企画課に、木材利用に関する研究を木材利用技術センター（平成13年 4月開所）に移管、管理課を管理研修課、育林経営部を育林環境部、林産部を特用林産部に改称し1課2部制とする。
- 平成18年4月 1日 森とのふれあい施設について、指定管理者制度を導入。  
森とのふれあい施設：研修寮、森の科学館、体験の森、森林植物園、親水広場、  
駐車場、野外便所
- 平成19年4月 1日 科を廃止し、各部に「副部長」を設置（2部4科を2部2副部長体制に変更）
- 平成24年4月 1日 鳥獣被害対策支援センターを設置し、1課2部1センター制とする。
- 平成26年4月24日 みやざき林業青年アカデミーを開講する。
- 平成27年4月 1日 特用林産部を森林資源開発部に改称する。
- 平成30年4月 1日 鳥獣被害対策支援センターを総合農業試験場に移管し、1課2部制とする。
- 平成31年4月 1日 管理研修課を管理・林業大学校研修課に改称する。
- 平成31年4月15日 みやざき林業青年アカデミーの研修内容を拡充し、みやざき林業大学校を開講する。

#### (1) 試験研究部門

本県林業の振興と山村地域の活性化に加えて、森林の持つ多面的機能の高度発揮に貢献するため、現場ニーズに対応した研究課題に重点的に取り組み、林家所得の向上につながる研究成果等の速やかな技術移転を図っている。

#### 試験研究実施課題一覧表

(令和5年4月1日現在)

部門	研 究 課 題	経費区分	研究期間 (年度)
林 政	森林の総合利用に関する基礎調査	国 補	S63
	地域における路網密度と機械化の実態及び改善に関する研究	県 単	H4～6
	役物材の需給動向と生産流通調査	県 単	S60
	竹、山菜等の生産流通に関する研究	県 単	S61
経 営	幼齢林の保育と肉用牛放牧の組み合わせ技術に関する試験	県 単	S45～46
	スギ林の林分構成と材の品質に関する試験	県 単	S53～55
	針葉樹小径木生産利用の実態に関する調査	国 補	S54～56
	クヌギ立木幹材積表および林分収穫表等調整に関する調査	県 単	S58～59

部門	研 究 課 題	経費区分	研究期間 (年度)
経 営	オビスギの樹幹、形質に関する研究	県 単	S59～H2
	非皆伐施業の適応条件に関する研究	国 補	S60～62
	農林家におけるシイタケ、山菜等を取り入れた複合経営に関する研究	県 単	S63～H2
	農林複合経営の実態と改善に関する研究	県 単	H4～6
	農林家における菌床キノコ等特用林産物の生産と経営に関する研究	県 単	H7～8
	高性能林業機械等による伐出作業の改善に関する研究	国庫・県単	H7～13
	地理情報の活用に関する研究	県 単	H13～15
	路網密度と林業機械の作業システムに関する研究	県 単	H14～16
	森林調査におけるGPSの利用法に関する研究	県 単	H14～16
	地理情報システム（GIS）を利用した森林経営技術の開発	県 単	H16～18
	森林経営のための林地生産力推定に関する研究	県 単	H16～18
	森林内におけるGPSの精度向上に関する研究	県 単	H17～18
	立地環境に適した森林経営に関する研究	県 単	H19～21
	森林資源の有効利用に関する研究	県 単	H22～24
	森林資源情報の高度利用に関する研究	県 単	H25～27
	多様な森林の造成及び森林管理技術に関する研究	県 単	H29～R3
	公益的機能の発揮を目指した森林管理方法の検討	県 単	R4～R8
造 林	林地肥培展示林における肥培効果調査	県 単	S43
	スギ品種別肥培調査	県 単	S43
	シイタケ原木林造成試験（生育調査）	県 単	S43
	林地除草剤導入試験（シダ枯殺試験）	国 補	S43～45
	オビスギ挿木苗の施肥効果試験	県 単	S44
	主要樹種林地肥培試験	県 単	S44～47
	林地除草剤導入試験（ススキ枯殺試験）	県 単	S44～47
	秋期造林活着成長試験	県 単	S44～48
	スギ間伐技術改善試験	県 単	S44～49
	ヒノキ林造成技術改善試験	県 単	S45
	シイタケ原木林造成試験	県 単	S45～58
	林地除草剤導入試験（クズ枯殺試験）	県 単	S46
	ヒノキの特性調査	国 補	S46～48
	立木密度、枝打ちと肥培に関する試験	国 補	S46～48
	林地除草剤導入試験（ケイビンの葉害）	県 単	S48
	優良ヒノキクローンの造林試験	県 単	S48, 50, 52, 53
	土壌母材別林地肥培試験	県 単	S48～54
	ヒノキ天然生林の地域特性調査	国 補	S49～51
	林地における施肥窒素の消長に関する試験	国 補	S49～51
	要間伐林分の林分構成実態調査	県 単	S49～52
	間伐試験林の生育調査（スギ間伐技術改善試験の続き）	県 単	S51
	枝打ちとぼたん材発生との関係調査	県 単	S51～53
	枝打、間伐、肥料の動態と肥培効果の解析に関する研究	国 補	S52～54
	保育作業における省力技術開発試験	県 単	S53～59
	有用樹種の育苗に関する試験	国 補	S54～58
特用広葉樹の種子特性調査と育苗技術	国 補	S55～57	
造林試験地の生育特性調査	県 単	S55～H5	
スギ林の施業に関する試験	県 単	S56～58	

林 技 3

部門	研究課題	経費区分	研究期間 (年度)
造 林	天然性林施業改善試験	国 補	S57
	有用広葉樹の造成技術に関する研究	県 単	S59～H5
	広葉樹林の生態的特性と育成技術に関する研究 (イチイガシ人工林の生態的特性と保育管理)	国 補	S63～H2
	複層林施業技術に関する研究 (複層林の造成管理技術の開発に関する研究)	国 補	H元～5
	広葉樹林に関する類型化と保育技術の調査	国 補	H3～5
	スギ人工林に広葉樹を導入した複層林造成技術に関する研究	国 補	H6～10
	再造林に関する研究	県 単	H8～12
	長伐期施業に対応する森林管理技術の開発	国庫・県単	H11～15
	再造林対策としてのポット苗に関する研究	県 単	H13～17
	人工林の省力施業技術に関する研究	県 単	H17～19
	多様な森林造成に対応した育苗技術に関する研究	県 単	H18～19
	スギ人工林の混交林への誘導技術に関する研究	県 単	H19～23
	広葉樹林化のための更新予測および誘導技術の開発	委 託	H19～23
	低コストによる健全な森林造成に関する研究	県 単	H20～24
	多様な人工林に対応した森林管理技術に関する研究	県 単	H24～28
	コンテナ苗等を用いた再造林の低コスト化に関する研究	県 単	H25～29
	コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究	委 託	H26～27
	多様な森林の造成及び森林管理技術に関する研究	県 単	H29～R3
	循環型林業の推進に向けた育苗及び造林技術に関する研究	県 単	H30～R4
	優れた形質を有するスギ等を活用した造林技術に関する研究	県 単	R5～R9
早生樹等の木質バイオマス活用に向けた育成技術に関する研究	県 単	R5～R9	
育 種	スギ精英樹クローン発根試験	県 単	S43～47
	スギクローンの特性調査	県 単	S48～49
	スギクローンの在来品種との関係調査	県 単	S50～52
	スギ人工交配苗木の特性調査	国 補	S55～57
	スギ在来品種等の特性に関する研究	国 補	S58～60
	(オビ) スギの品種改良試験	県 単	S58～H4
	優良木からの種苗増殖技術の開発	県 単	H3～7
	スギ交配種の活着及び成長特性に関する研究	県 単	H5～9
	抵抗性クロマツの増殖に関する研究	県 単	H8～12
	21世紀に適したスギ品種の選抜に関する研究	県 単	H10～14
	抵抗性クロマツの生産性向上に関する研究	県 単	H13～17
	森林生物資源の遺伝子解析技術の利用に関する研究	県 単	H14～17
	高品質スギ苗木の生産技術に関する研究	県 単	H15～19
	クロマツの第二世代マツ材線虫病抵抗性種苗生産システムの構築	委 託	H16～20
	クロマツ交配種の遺伝的改良に関する研究	県 単	H18～19
	DNA分析技術等を活用した林木育種技術に関する研究	県 単	H20～24
	成長速度に優れた種苗の多様な施業下での成長パターンの解明	委 託	H24～26
優良スギ品種の特性把握及び抵抗性クロマツの育種技術に関する研究	県 単	H25～29	
温暖化等に対応するスギ・クロマツ優良品種の選抜及び育種技術に関する研究	県単・委託	H30～R4	
優良スギ品種の明確化と生産管理技術に関する研究	県 単	R4～R8	
広葉樹等のコンテナ苗による健全な海岸林等造成に関する研究	県 単	R5～R9	
保 護	マツクイムシの加害対象木に関する研究	国 補	S43
	誘引、誘殺剤によるマツクイムシ防除試験	県 単	S44～45
	マツクイムシの化学的防除試験	県 単	S44～51
	スギザイノタマバエに関する研究	県 単	S45～55
	スギタマバエ防除試験	県 単	S46～48
	緑化樹木病害虫等の緑地形態別種類とその分布に関する調査	国 補	S49～51
マツクイムシの天敵等利用による防除新技術に関する研究	国 補	S52	

部門	研 究 課 題	経費区分	研究期間 (年度)
保 護	スギザイノタマバエ天敵効果試験（天敵に関する研究）	県 単	S52～54
	マツクイムシ類の防除に関する研究	県 単	S52～56
	松の枯損防止新技術に関する総合研究	国 補	S53～57
	マツノシンクイムシ類の防除に関する研究	県 単	S52～54
	マツクイムシ被害林地における広葉樹林の造成	県 単	S53～54
	スギ、ヒノキ穿孔性害虫の被害防除技術に関する基礎調査	国 補	S56～57
	スギザイノタマバエに関する研究	県 単	S56～59
	松の枯損被害パターンをもとにした新たな防除技術の実用化に関する調査	国 補	S58～60
	ヒノキカワモグリガ防除試験（生態と防除に関する研究）	県 単	S58～62
	スギ、ヒノキ穿孔性害虫被害の防除技術に関する総合研究	国 補	S58～62
	暗色枝枯病等の被害と防除に関する調査	県 単	S60～H2
	糸状菌等の利用による森林害虫防除に関する研究	県 単	S61～H2
	スギ、ヒノキ穿孔性害虫被害の防除技術に関する研究	県 単	S63～H2
	国産材の品質向上に関する調査（ヒノキカワモグリガ防除法の研究）	国 補	S63～H4
	ヒノキ漏脂病の被害と防除技術に関する研究	国 補	H2～4
	ヒノキ根株心腐病の被害と防除技術に関する研究	県 単	H3～7
	緑化木の病害虫に関する研究	県 単	H4～6
	ヒノキカワモグリガの防除法の開発に関する研究	県 単	H5～7
	森林の獣害に関する研究	国 補	H5～7
	ヒノキ漏脂病の立地環境及び病原菌の特性に関する研究	国 補	H5～9
	スギ黒心材の発生機構の基礎的研究	委 託	H6～8
	緑化木の樹勢衰退に関する研究	県 単	H7～9
	森林の獣害に関する研究	国 補	H8～11
	森林の気象害に関する研究	県 単	H9～11
	多様な森林造成を阻害する要因の解明と被害回避に関する研究	県 単	H12～16
	緑化樹等の樹木病害に対する防除薬剤の効率的適用化に関する研究	委 託	H15～18
	多様な森林の造成を阻害する病害虫等の防除技術に関する研究	県 単	H17～19
	侵入害虫の防除技術に関する研究	県 単	H19
	樹木成長を阻害する病虫獣害等の防除技術に関する研究	県 単	H20～24
	森林・林業のシカ被害に関する研究	県 単	H24
森林・林業における獣害及び病害虫の防除技術に関する研究	県 単	H25～29	
樹木成長に影響を与える獣害及び病害虫の防除技術に関する研究	県 単	H30～R4	
立 地 ・ 緑 地	緑化樹の生産技術向上試験（既利用緑化樹の増殖技術改善試験）	県 単	S48～50
	緑化樹の生産技術向上試験（既利用緑化樹の育苗技術改善試験）	県 単	S51～53
	緑化樹の生産技術向上試験（未利用広葉樹の利用開発試験 特性調査）	県 単	S48～49
	緑化樹の生産技術向上試験（未利用広葉樹の利用開発試験 増殖試験）	県 単	S50～52
	緑化樹の生産技術向上試験（未利用広葉樹の利用開発試験 養成試験）	県 単	S53～54
	造林地、海岸埋立地等の緑化に対する土壌改良試験	国 補	S49～51
	ヒノキなど経済林地の限界環境調査	国 補	S52～54
	特用広葉樹の適地判定のための基礎調査	国 補	S55～56
機 能 保 全	街路樹等の都市景観林の樹勢回復及び維持増進に関する試験	県 単	S63～H4
	立地とヒノキ幹材の形質特性調査	国 補	S55～57
機 能 保 全	海岸防災林の活力の維持増進に関する研究	国 補	S60～62
	海岸防災林の活力の維持及び菌根菌の増殖技術に関する試験	県 単	S63～H2
	菌根菌等の活用による森林機能の強化に関する研究	県 単	H3～7

部 門	研 究 課 題	経費区分	研 究 期 間 (年度)
機能保全	酸性雨等大気汚染の森林被害と機能維持に関する試験	県 単	H4～8
	海岸クロマツ林の保育技術に関する研究	県 単	H8～12
	酸性雨の森林土壌に及ぼす影響に関する研究	県 単	H9～13
	森林のモニタリングと環境の評価に関する研究	国 補	H10～12
	再造林放棄地の水土保全機能評価と植生再生手法の開発	委 託	H16～20
特 用 林 産	シイタケ品種改良試験（昭和59年度からシイタケ優良品種系統の選抜試験）	県 単	S43～62
	シイタケ種菌活力検定試験	県 単	S43～57
	シイタケ栽培品種の地域（現地）適応試験	県 単	S43～50, 53～57
	シイタケ周年栽培試験	県 単	S44～47
	シイタケほた付向上試験	県 単	S44～46, 48～50
	シイタケ種菌劣化検定試験	国 補	S45～46
	シイタケ人工ほた場環境改善試験	国 補	S46～48
	食用キノコ類の栽培試験	県 単	S46, 48～50, 54
	シイタケほた場の連作障害試験	国 補	S47～49
	シイタケほた木に加害する不明菌に関する研究	県 単	S51
	シイタケ害菌（ヒポクレア属菌）防除試験	県 単	S52
	シイタケ原木害菌防除試験	県 単	S52～53
	シイタケ害菌防除薬剤の検索（食用きのこ類の高度生産技術に関する総合研究）	国 補	S53～57
	温暖地域における椎茸栽培技術の施業効果の解明（ 〃 ）	国 補	S53～57
	シイタケ害菌の生理生態及び侵入機序等の解明（ 〃 ）	国 補	S53～57
	シイタケ害菌抵抗性菌糸の選抜（ 〃 ）	国 補	S53～57
	クヌギ原木ほた付向上試験	国 補	S54～55
	シイタケ害菌（シトネタケ等）防除試験（シイタケの病害虫の生態と防除に関する研究）	県 単	S56～62
	シイタケ伏込地及びほた場の環境改善試験	県 単	S58～62
	特用原木林の育成技術に関する総合研究	国 補	S58～62
	シイタケ原木の早期ほた化試験	県 単	S58～H元
	シイタケ原木林の育成試験	県 単	S59～62
	アマチャヅル栽培試験	県 単	S60
	組織培養によるクヌギ、コナラ等の増殖に関する研究	国 補	S61～H2
	竹、山菜等の生産技術の向上試験	県 単	S62～63
	クヌギ採取林の育成試験	県 単	S63～H3
	シトネタケ、ニマイガワ菌による被害と発生量に関する研究	県 単	S63～H3
	シイタケほた場の環境改善によるシイタケ品質向上に関する研究	県 単	S63～H3
	タケ・タケノコ等の生産技術の向上試験	県 単	H元～3
	組織培養によるシオデの大量増殖と栽培技術に関する研究（南九州大学委託）	県 単	H元～3
	生シイタケ周年栽培技術の向上に関する研究	県 単	H2～4
	地域特性品種の育成に関する研究	県 単	H2～5
	バイオテクノロジーによる食用野生きのこ類の栽培化に関する研究	県 単	H3～7
	シイタケ原木栽培の高度管理技術による生産性向上に関する研究	県 単	H4～6
	シイタケ菌床栽培技術の開発に関する研究	県 単	H4～6
	食用キノコ類の育種に関する研究	県 単	H4～6
モウソウタケの超早出たけのこ栽培技術の開発に関する研究	県 単	H4～6	
山菜種苗養成・促成栽培技術の開発に関する研究	県 単	H4～7	

部 門	研 究 課 題	経費区分	研 究 期 間 (年度)
特 用 林 産	葉木葉草選抜育種試験	県 単	H5～7
	林内の希少植物の増殖に関する研究	県 単	H5～9
	生シイタケの地域適合品種選抜に関する研究	県 単	H5～9
	原木栽培における高品質シイタケ生産技術の開発に関する研究	県 単	H7～11
	菌床シイタケ栽培管理及び育種に関する研究	県 単	H7～11
	木炭・木酢液の新利用技術の開発に関する研究	県 単	H7～11
	林内有用植物の利用に関する研究	県 単	H8～10
	きのこ資源の利用と生産技術の開発	県 単	H8～12
	シイタケ短木栽培技術の開発に関する研究	県 単	H9～11
	林内有用植物の増殖・活用に関する研究	県 単	H10～12
	原木シイタケの品質及び生産性の向上に関する研究	県 単	H11～13
	原木シイタケの施設栽培技術に関する研究	県 単	H14～18
	短木化による一貫栽培システム化に関する研究	県 単	H12～14
	菌床シイタケ生産性向上及び育種に関する研究	県 単	H12～14
	地域生物資源の利用開発に関する研究	県 単	H13～17
	竹資源の有効利用技術に関する調査研究	国 補	H12～15
	成型駒によるシイタケ生産技術の開発に関する研究	県 単	H15～18
	菌床シイタケの生産技術の高度化に関する研究	県 単	H15～19
	竹資源の循環利用技術に関する研究	県 単	H16～19
	診断キットを用いたきのこ栽培の害菌被害回避法に関する研究	委 託	H17～19
	地域資源を活用したきのこ生産技術に関する研究	県 単	H18～19
	原木シイタケの安定生産技術に関する研究	県 単	H19～23
	菌床キノコの生産技術の高度化に関する研究	県 単	H20～24
	地域資源を活用した特用林産物の生産技術に関する研究	県 単	H20～24
	原木シイタケの生産技術の向上に関する研究	県 単	H24～28
	菌床キノコ栽培における未利用資源の活用と収益性の向上に関する研究	県 単	H25～29
	地域生物資源の新たな利用方法及び生産技術に関する研究	県 単	H25～29
	原木きのこ等の生産技術の向上に関する研究	県 単	H29～R3
菌床栽培技術等を活用した安全・安心な県産食用キノコの生産に関する研究	県 単	H30～R4	
未利用森林資源の探索とその活用法に関する研究	県 単	H30～R4	
原木シイタケ栽培における労働負担の軽減と作業の効率化に関する研究	県 単	R4～R8	
IoT等技術を活用したシイタケ等特用林産物生産技術に関する研究	県 単	R4～R8	
菌床生産技術の改良と新たな食用キノコ栽培に関する研究	県 単	R5～R9	
里山環境に適した山菜類の生産技術の開発	県 単	R5～R8	
木 材	スギ材の葉枯らし乾燥に関する研究	県 単	S61～H元
	バイオマス変換技術によるスギ間伐材等木材資源の利用開発に関する研究	県 単	S61～H2
	県産材の材質特性に関する研究	県 単	H2～5
	主なスギ品種の材質特性の評価に関する研究	国 補	H3～5
	建築用構造材の低コスト乾燥システム化に関する研究	県 単	H4～6
	中大径木の木取りと材質特性に関する研究	県 単	H6～8
	精英樹の材質特性の解明に関する研究	県 単	H6～8
	スギ交配種による優良品種の創製のための研究	委 託	H6～8
	製材用原木の予備乾燥に関する研究	県 単	H7
	建築用構造材の効率的乾燥に関する研究	県 単	H8～10
	県産スギ平角材の乾燥方法別強度特性に関する研究	県 単	H11～12

## (2) 関連事業部門

## 事 業 実 施 一 覧 表

(平成31年4月1日現在)

部門	研 究 課 題	経費区分	研 究 期 間 (年度)
育	精英樹選抜育種事業	国 補	
	① 精英樹クローン養成	国 補	S42～44
	② 採穂園造成	国 補	S43～44
	③ 次代検定林設定	国 補	S44～55, 57～60
	④ 生育調査	国 補	S50～7
	⑤ 凍害寒風害抵抗性クローンの増殖	国 補	S47～49
	⑥ マツノザイセンチュウ抵抗性育種事業	国 補	S53～57
林	⑦ 地域虫（スギザイノタマバエ）抵抗性育種事業	国 補	S61～62
	適地適木調査事業	国 補	S43～45
	国土調査事業	国 補	S46～47
	特殊林地改良事業	国 補	S48～54
	森林害虫発生予察調査事業（マツノマダラカミキリ発生消長調査）	国 補	S49～H3
	環 森林害虫発生予察調査事業（スギタマバエ発生予察調査）	国 補	S49
	森林害虫発生予察調査事業（スギハダニ発生予察調査）	国 補	S49
境	海岸二段林造成事業	県 単	S52
	松くい虫薬剤防除安全確認調査事業	国 補	S52～H20
	海岸林の機能強化技術の確立に関する調査	委 託	S54～58
	宮崎県土地分類基本調査事業	国 補	S55～H20
	緑化木コンテナ栽培試験	県 単	H3～5
	集約施業技術等導入実験事業	国 補	H4～8
	部 酸性雨等森林被害モニタリング事業	委 託	H2～6
部	〃	〃	H7～11
	〃	〃	H12～14
	森林吸収源計測・活用体制整備強化事業	委 託	H15～18
	森林吸収源インベントリ情報整備事業	委 託	H18～22
	森 林 資 源 開 発 部	シイタケ原木育種事業（精英樹選抜）	国 補
シイタケ原木育種事業（シイタケ栽培試験）		国 補	S56～58
シイタケ原木育種事業（シイタケ発生量調査）		国 補	S59～H元
乾燥材供給総合対策事業		国 補	H元～3
林業技術体系化調査		国 補	H2～10

(3) 研修部門

関係機関と緊密な連携をとりつつ、知識と技能を併せ持った技術者を育成・確保するために必要な各種の研修を実施し、林業技術者及び林業後継者等の資質向上を図っている。

(7) 研修業務実績

区 分	28年度		29年度		30年度		令和元年度		2年度		3年度		4年度	
	日 数	延人員	日 数	延人員	日 数	延人員	日 数	延人員	日 数	延人員	日 数	延人員	日 数	延人員
林業普及指導員課題研修	1	12	3	39	3	33					3	24	5	52
一 般 研 修 計	1	12	3	39	3	33	0	0	0	0	3	24	5	52
研究成果発表会	1	90	1	105	1	130	1	96	1	54	1	70	1	60
林業作業士養成研修*1	48	569	48	717	48	300	45	490	45	425	45	260	45	550
林業経営者養成研修	3	58	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
セミナー・特別研修計	52	717	49	822	49	430	46	586	46	479	46	330	46	610
自 主 研 修	50	1,822	62	1,988	60	1,865	54	2,253	55	2,061	58	2,099	74	2,182
みやざき林業青年アカデミー*2	22	220	20	100	41	328	—	—	—	—	—	—	—	—
みやざき林業大学校	—	—	—	—	—	—	218	4,369	214	4,082	209	4,044	208	4,189
合 計	125	2,771	134	2,949	153	2,656	318	7,208	315	6,622	316	6,497	333	7,033

参考) 林業作業士等認定者数 昭和56～令和4年度 628名

\*1は、(社)宮崎県林業労働機械化センター主催研修  
林業作業士養成研修の科目

- ・林業架線作業主任者免許講習 ・はい作業主任者技能講習 ・地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習
- ・玉掛け技能講習 ・小型移動式クレーン運転技能講習 ・車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習
- ・不整地運搬車運転技能講習 ・機械集材装置の運転の業務に係る特別教育 ・伐木等機械の運転の業務に係る特別教育
- ・走行集材機械の運転の業務に係る特別教育 ・簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育 ・普通救命講習
- ・造林作業の作業指揮者等に対する安全衛生教育 ・低コスト森林施業 ・森林作業道作設講習

\*2は、当センター職員が講師を担当した日数及び延人員を計上

(4) 林業技術センターの施設利用者数、林業相談

年 度	林 業 技 術 セ ン タ ー			森とのふれあい施設利用者数			森とのふれあい教室	
	林業相談	森とむらのフェスティバル	移動センター	研修寮 宿泊者数	施 設 来 所 者 数	森の科学館 入 館 者 数	回 数	参加者数
平成11	855	1,800	100	1,273	20,483	5,680	10	690
12	726	1,500	—	1,247	17,031	5,193	10	643
13	571	500	—	1,473	15,564	5,447	10	753
14	616	1,500	—	1,659	20,668	7,149	10	908
15	543	1,500	—	1,350	15,921	5,011	10	935
16	528	1,200	—	1,165	17,062	5,394	10	1,072
17	504	1,000	—	989	17,133	4,684	18	932
18	498	1,500	—	902	17,532	4,398	22	1,129
19	511	1,200	—	536	15,646	4,402	22	940
20	544	1,100	—	727	17,304	4,756	24	1,226
21	538	1,000	—	759	16,580	5,150	24	1,238
22	528	900	—	842	15,601	4,762	21	1,025
23	507	725	—	1,687	14,978	4,534	26	1,250
24	604	—	—	976	11,803	3,725	21	608
25	484	—	—	1,048	9,410	3,972	19	543
26	472	—	—	927	8,614	4,112	18	493
27	461	—	—	1,059	9,602	4,968	24	1,574
28	368	—	—	1,221	9,223	5,283	24	1,335
29	434	—	—	1,021	16,998	7,774	24	1,789
30	125	—	—	651	15,137	6,961	25	1,723
令和元	145	—	—	774	15,097	7,009	25	2,155
2	157	—	—	278	4,849	2,072	20	366
3	215	—	—	315	5,626	2,202	19	697
4	245	—	—	535	6,172	3,143	29	699